



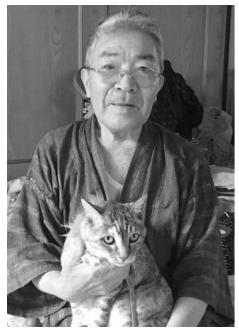
四郎さん(立野)

取材者:認定特定非営利活動法人市民公益活動パートナーズ 古山・松田

取材日:9月10日

応援などをしたり

今、けっこう大丈夫ですよ。幸せですよ



▲長年連れ添う猫の桃子と一緒に

福島交通飯坂電車が近くを走る福島市郊外の自宅で、愛猫の桃子 (15歳)と共に暮らす山田さんは、取材の前日が80歳のお誕生日でし た。

運転免許証を2年前に返納され、浪江町などへの外出はやや不便に なられたがゆえに、ふるさとへの思いはこれまでにも増して募ってい らっしゃるのではないかと思いつつ、お話に耳を傾けました。

高校生になってい松市に住み、孫の したが、 たちも一緒に避難生活を送りま住宅に入りました。一時は息子の紹介で山形県村山市の借上げ たくなかったので、娘の嫁ぎ先しましたが、私は会津には行きた息子家族は会津若松市に避難 校舎にも避難をしました。 馬女子高校 息子たちは今、 大熊町で教員をして の双葉郡代表を務め 孫2人は大学生と 0) 県議会議員や県 ます 相馬東高校) 現市の借上げ 娘の嫁ぎ先

バスで視察に見えたり、伊達郡が、地元の反対も結構ありましが、地元の反対も結構ありましが、地元の反対も結構ありましが、地元の反対も結構ありました。 このゴイを放したりしました。この

川を守るため、用水路に米づくりのためにきれいて田んぼの効率化を図っ

用水路にニシキ

)こりこきれいな水との効率化を図ったり、つまり、

が少し不自由になり、立っていが少し不自由になり、立っていだしを工夫したおでんは評判がは苦になりません。私が作る、見てきました。だから家のこと ですが、もう1匹は病死してしき取られ、今も福島市内で健在きに迎えに行った2匹の犬た自宅に迎えに行った2匹の犬た 朝はごく簡単に、夕方は外食でることが苦になりましたので、 ま けになりました。 (享年49歳)、 私は早くに妻を亡くしており 私の手元には猫の桃子だ 子供たちの面倒も

時に知り合った人たちが特産品かつて仕事で全国各地を訪ねた知人が頻繁に訪ねてくれたり、知人が頻繁に訪ねてくれたり、 は、一方ならぬ世話になる市内の割烹料理屋の女将されたりします。 一方ならぬ世話になっていの割烹料理屋の女将さんにでも、避難中に知り合った 会会長として、 労賞を頂きました。

では、あまりにも帰還を待てすが、あまりにも帰還を待らは若い人たちにどんどん引き終いでいってほしい。またニシギゴイが泳ぐ美しい立野に戻れればいいですね。「ればいいですね。「あ、若っち、ちっち」と、ちっち ですが、あまりにも帰還を待と思っています。

に深く関わながら、立路 務所を訪ねた折、 さんに貸家を紹介 今の家です てき きまし 隣の しても でもらったの選挙事 から、

れています、

本当に恵ま

の雲雀ヶ

その後、

以前の!

りません

私は仮設住宅に住

んだ経験があ

基盤整備、

知世代からの 親世代からの 親世代

らの農地の

町立野営農組合を仲間7

|くの小学校に移||競技場に1日だ

つて2

◆地域に対する思いは 強いはずです 本当に好きだっ ふるさとづくり です ţ 倍









● 第103号 ●

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そし て福島第一原子力発電所の事故により、町内全域に出 されていた避難指示は、平成29年3月31日に「帰還 困難区域」を除き解除されましたが、多くの浪江町民 は福島県内外に分散して避難生活を続けています。町 を取り巻く状況が徐々に変化する中で、町民の皆さん がどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱い ているのか。

"浪江のこころプロジェクト" は、町民の皆さんの 声を「浪江のこころ通信(※1)」を通してお届けし、 皆さんの思いや暮らしぶりを発信・共有しようとする ものです。

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム (※2)が中心となり、全国各地のNPO、大学などの 皆さんが取材を進め、浪江町と連携し「浪江のこころ 通信」を編集・発行しています。

- ※1 浪江のこころ通信は、町民の皆さんがお話しした「ここ ろ」を伝えることを大切にするため、取材者が聞き取っ てまとめた原稿をほぼ原文のままで掲載しています。
- ※2 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、大 学、NPO、企業、経済団体、行政などが連携したコ ミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のこころ通信/第103号」への 感想をお寄せください。

【連絡先】〒979-1592 浪江町大字幾世橋字六反田7番地2 「浪江のこころ通信」宛て FAX 0240 (34) 4593



の取組が、何年後かに一緒に県ね。その国見町と私たちの地区て、だんだん認知されたんです国見町から研修に来られたりし

感慨深いものがありましたよ。知事から表彰を受けた時には、

頂きました。これまで地として、福島県の農業功5月、元浪江町農業委員いものがありましたよ。